Creative Enzymes®

ヒト由来カスパーゼ-1、組換え

Cat. No. NATE-0813

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カスパーゼ1/インターロイキン-1□換酵素は、炎症性サイトカインであるインターロイキン1βおよびインターロイキン18の前□体など、他のタンパク質をプロテオリティックに切断し、活性成熟ペプチドに□換する酵素です。カスパーゼ1は細胞壊死またはパイロプトーシスを誘導することが示されており、さまざまな発生段階で機能する可能性があります。マウスにおける類似タンパク質の研究は、ハンチントン病の病因における役割を示唆しています。遺伝子の選□的スプライシングは、異なるアイソフォームをコードする5つの転写産物バリアントを生成します。最近の研究では、カスパーゼ1がHIVによるCD4 T細胞の死と炎症を促進することに関与していることが示されており、これはHIVの病気進行をAIDSに至らしめる2つの特徴的なイベントです。
別名	CASP1; ICE; IL1BC; P45; カスパーゼ 1; インターロイキン-1; IL-1β □換酵素

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	液体
分子量	10 kDa and 20 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
活性	>25,000 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	100 mM NaCl、50 mM HEPES、10 mM DTT、1 mM EDTA、10% グリセロール、0.5% CHAPS、pH 7.4。
単位定義	1ユニットは、30°C、pH 7.4で1分あたり1.0 pmolのAc-YVAD-NAを切断する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	< -70°C; 凍結/解凍を避ける